

第1回 定例会	6月2日(土) 13:00~15:00 金沢勤労者プラザ 203 研修室 参加者 10 名	中部支部大会の報告、新会員の紹介、標準化セミナーの説明等	5月19日に開催された支部大会の概略報告。またNACSとして取り組んでいる標準化についての進捗状況等の説明を実施。なお今年度から分科会に新規に入会された2名の会員の方との意見交換も行い、新たな雰囲気の中での定例会となった。
第2回 定例会	7月28日(土) 11:00~15:00 富山県高岡市 ・はんぶんこ ・高岡御車山会館 ・国宝瑞龍寺 参加者 7 名	古くからの伝統文化を伝える富山県高岡市を訪れ過去に思いを馳せる	江戸時代から続く金物店を改装し、銅器で有名な高岡のものづくりを学べる複合施設「はんぶんこ」を訪問し、伝統工芸を見学した。また全国で5つしかない国の重要有形・無形民族文化財である「御車山」を展示する「高岡御車山会館」、二代加賀藩主前田利長公の菩提寺である「国宝瑞龍寺」では学芸員の方の説明に耳を傾けながら、高岡の素晴らしさに触れることが出来た。
第3回 定例会	10月20日(土) 11:30~15:30 福井県永平寺町 ・寂光苑 ・永平寺 参加者 6 名	禅の道場として有名な大本山永平寺を訪れ、静寂の中、日頃の生活を見つめ直す	道元禅師 750 回大遠忌の記念事業として整備された「寂光苑」では会員各人が寂照の鐘をつくことで心が洗われた。また永平寺では座禅体験に参加することで、日頃の生活を改めて見つめ返すことが出来た。
第4回 定例会	11月17日(土) 11:00~15:30 金沢市 ・伏見寺 ・西芳寺 ・香林寺 ・にし茶屋街 参加者 9 名	金沢市寺町寺院界隈を散策し、北陸の文化に触れる	金沢の地名発祥にまつわる芋堀藤五郎ゆかりの寺である「伏見寺」、初代加賀藩主前田利家の息女菊姫の菩提寺である「西芳寺」、願掛けで全国的に有名な「香林寺」を訪れ、日頃の喧騒から離れるとともに、にし茶屋街では古民家を改装したカフェでゆっくりお茶をいただき、金沢の歴史の一端に触れることが出来た。
第5回 定例会	3月23日(土) 13:00~15:00 金沢勤労者プラザ 203 研修室 参加者 12 名	講演「親の終活、自分の終活」 講師：行政書士 浜崎泰彦氏 (浜崎行政書士事務所長) 中部支部全体会議の報告 2019年度北陸分科会運営方針及び分科会人事について協議 2019年度年間活動計画の策定	終活は一種ブームになっており、その隙を狙って騙す人がいるのも事実。よって「賢い消費者」にならないといけない(消費者目線に立つことが重要)また普段から正確な情報を仕入れておき、元気うちに、これからのことを決めておくことが大切との説明があった。